

“学び+旅”のすすめ ～旅に学び、学んで旅する～

旅のがっこう

TRAVEL SCHOOL

すべて事前予約制となっております。お電話またはFAX、Eメール等でご連絡をお願いします。どなたでもご参加いただけます。詳細につきましては、資料をお送りいたします。

Eメール：henshu@fits-tyo.com

※場所に記載がない場合は、富士国際旅行社会議室で行います。(定員25名)

横井久美子さんと語ろう♪ ベトナムのつどい

日時：1月23日(土) 14:00～16:00

講師：横井久美子さん(シンガーソングライター)

参加費：500円

内容：ベトナムで歌い、支援し続けてきたシンガーソングライターの横井さんがベトナムの魅力を語ります！

☆ミャンマー総選挙

～国際監視団参加報告とミャンマーのこれから～

日時：2月3日(水) 18:00～20:00

講師：伊藤和子さん

(国際人権NGO「ヒューマン・ライツ・ナウ」事務局長)

参加費：2,000円

内容：2015年11月に実施されたミャンマー総選挙。国際監視団として現地を訪れた伊藤さんに選挙中のご報告とこれから同国で民主化がどのように進んでいくのかなどお話いただきます。

戦後ベトナムと日本からの原発輸出

日時：2月4日(木) 18:00～20:00

講師：中村梧郎さん(フォトジャーナリスト)

参加費：1,000円

内容：アメリカとともに途上国への原発輸出を進める日本。その実態と現状をベトナムを例に解説していただきます。

キューバ学習会

スケッチ講習会！ 旅の思い出を絵に残そう

日時：2月13日(土) 14:00～17:00

講師：宮下 泉さん(日本美術会付属研究所民美講師)

参加費：1,000円

内容：講師の方を迎えて野外スケッチのコツ、風景の構図の撮り方などを教えていただきます。

☆音楽評論家 小村公次さん講演

「プラハの春音楽祭の歩みとチェコ・フィル」

日時：3月5日(土) 14:00～16:00

講師：小村公次さん(音楽評論家)

参加費：500円

内容：2016年プラハの春音楽祭ではチェコ・フィルが、伝統の「我が祖国(スメタナ)」を演奏します。音楽祭に先立ち、その歴史と歩みを講演します。

カナダ・バンクーバーに残る日本近代史

～新しい出会いを求めて～

日時：3月5日(土) 14:00～16:00

講師：岩下美佐子さん(バンクーバー九条の会世話人)

参加費：1,000円 会場：別途案内

内容：バンクーバー近郊に大石誠之助、山本宣治の足跡を訪ね、カナダ政府と戦後補償について闘った人々との交流についてお話いただきます。

中台関係の歴史と今後の展望

日時：3月8日(火) 18:00～20:00

講師：平井 潤一さん(日中友好協会参与)

参加費：1,000円

内容：分断後初の首脳会談が行われた中国と台湾。今後の「两岸関係」はどう進むのか、過去の対立の歴史も踏まえてお話いただきます。

外国人と一緒に学ぼう！

靖国神社・遊就館ツアー

近年、外国人観光客が多くなっている中、真の日本

宮本百合子没後65年によせて 連続講座 『道標』にみる百合子の刻々

日時：※いずれも14:00～16:00

①3月26日(土) 89年前、百合子はなぜロシアへ？

②4月23日(土) ロシアで見たこと、感じたこと

③6月予定(いま、輝きをます百合子の生き方と文学)

講師：柏木 和子さん(文芸評論家)

参加費：1000円

内容：2016年は作家、宮本百合子の没後65年。戦前戦後の激動の中で、知性と理性、良心を培いつつ、人間の真実を追求し不正義と闘い、多くの作品を書きました。今回遺作となった小説『道標』に寄せて、連続講座を企画しました。

東京歴史探訪ツアー

講師：長谷川 順一さん

(東京の戦争遺跡を歩く会 / 元新宿平和委員会〇〇)

参加費：1,000円(2コースとも)

①大日本帝国中央停車場と江戸城跡

日時：3月26日(土) 10:00～15:00

場所：東京駅地下一階「銀の鈴広場」集合
東京メトロ竹橋駅解散

内容：復原された東京駅、小説の舞台となったホテル。平将門の首塚、皇居東御苑の富士見櫓、近衛聯隊午砲台跡。江戸城本丸と松の廊下、大奥跡など。はとバスのコースとはひと味違う歴史散歩、お気軽にご参加下さい。

②北の丸公園から千鳥ヶ淵戦没者墓苑 花見散歩

日時：4月9日(土) 9:30～12:00

場所：九段下交番前集合・解散

内容：重文の田安門、清水門や旧近衛師団司令部庁舎、そして千鳥ヶ淵戦没者墓苑を桜の下、解説を聞きながら歩きます。

山歩き講座

春の丸山(まるやま)日帰りハイキング

日時：4月9日(土) 9:00～17:00

場所：西武池袋線芦ヶ久保駅 集合・解散

Book Guide

『社会とともに歩む 認知症の本』



宮澤由美：著
新日本出版社
1,620円

認知症800万人時代に
どう対応するのか？
当事者、家族、医療・介護従事者への必須知識、
社会全体で支えていくあり方を考える。

現在日本では、認知症患者は800万人に達すると言われています。高齢社会において、認知症は避けられない問題、「もの忘れ外来」や「もの忘れ検診」を通しての最新知識や「認知症カフェ」などが紹介されています。

『里山産業論「食の戦略」が六次産業を超える』



金丸弘美：著
角川新書
定価 800円(税別)

本書では、イタリア・フランス、そして日本の地域で実際に行われている“食の戦略”が紹介されている。“食の戦略”とは、単に特産物をPRするのではなく、「個人の味覚と積み重ねた食文化を基盤に町作りを行うこと」である。とりわけ未来をつくる若者・人材への投資の必要性に注目した内容となっている。食を基盤に、環境から人々の暮らしまで豊かにする戦略とは。畑の土から世界遺産までを連携させ、人を呼び込むイタリア、「味覚の講座」で輸出力を強化するフランス。TPPの議論が進む中、日本での海外に劣らない取組みとは。食文化によって、人・地域・社会が豊かになる、食と文化発信の仕組みを教えてくれる一冊。(C.K)